



坂東地域アグリ通信

令和元年7月22日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel: 0297-34-2134 Fax: 0297-34-3291

ドローンを活用した「水稻省力低コスト栽培技術」現地検討会を開催



6月17日（月）、古河市谷貝の現地ほ場において、坂東普及センター主催による「水稻省力低コスト栽培技術」現地検討会を開催し、50名以上の生産者、関係機関が参加しました。

まず、農薬メーカーから薬剤を組み合わせた、効率的な畦畔除草方法の紹介がありました。通常、畦畔除草は年間で5回程度の薬剤散布が必要となりますが、この方法を用いれば2回の薬剤散布で済みます。

また管内では、イネ縞葉枯ウイルスを持つヒメトビウンカの割合が要防除水準にまで高まっており、対策が求められています。坂東普及センターからは本病防除のための、ヒメトビウンカ防除とドローン活用の可能性について説明を行いました。

さらにドローン作業受託会社が、ドローンによるヒメトビウンカ防除のデモ飛行を行いました。ドローンの安定性や作業速度などを実際に確認する良い機会になりました。

参加者からは、「部会でのドローン導入も検討したい」、「ヒメトビウンカ防除のために本田防除も行いたい」などの声が聞かれ、充実した検討会になりました。



坂東地域アグリセミナー第2回「病害虫防除講座」を開講

6月17日（月）、坂東地域アグリセミナー第2回「病害虫防除講座」を開催し、管内の新規就農者12名が参加しました。

まず、普及センターから①病害虫防除の基礎、②農薬の適正使用について、③線虫について、の3つのテーマで講義を行い、病害虫の種類や防除法の考え方、農薬の使い方等を説明しました。講義後は「病害虫対策について」のテーマで班に分かれてグルー



プワークを行い、自分のほ場で発生している病害虫の症状や対応策について意見を交わしました。

病害虫による被害は、本来の生産量を引き下げる大きな要因です。適切な対策を行うことで本来の収量や品質が確保でき、所得向上に繋がります。普及センターでは、今後もアグリセミナー等を通して、新規就農者を支援していくとともに、病害虫の最新情報や防除方法について発信していきます。

ネギハモグリバエの新しい系統が発生しました！

平成30年10月に、ネギハモグリバエにより秋冬ネギの葉組織が食い尽くされて白化する被害が県内ネギほ場で確認されました。

本ネギハモグリバエは、従来の系統とは異なるB系統であることが判明しています。



成虫



幼虫

<被害の特徴>

①1葉あたりの幼虫数が多く、葉の内部に潜り込んで集中的に葉肉を加害します。

②白線状の食害痕同士が癒合し、葉全体が白化したようになります。

<形態の特徴>

①成虫：体長は2mm程度で、黄色をベース色に胸部、腹部が黒くなります。従来の系統との識別は困難です。

②幼虫：ウジ虫状で、成長すると4mm程度の大きさになります。



食害痕

昨年度は9月中旬から秋冬ネギで被害が目立ちました。また、今年度は5月中旬からすでに発生が確認されています。激増する恐れがあるため、今の時期から発生に注意し、防除対策に努めましょう！

対策方法等のご相談は、普及センターまでお問い合わせください。

！トラクター等の盗難が多発しています！

本年5月末現在の、トラクター等農耕車の盗難被害の認知件数は県内で61件と、前年5月末までの16件と比較して約4倍と急増しています。

対策として、

- ①トラクターをほ場に放置せず、確実に自宅倉庫などに格納すること
- ②トラクターの鍵を確実に施錠すること
- ③タイヤロック、ハンドルロック等複数の対策を行うこと

等の注意喚起をお願いします。

8月 土壌診断実施日のお知らせ

8月7日(水)、8月14日(水)、8月28日(水)
を予定しております。

※診断日は前後する可能性があります。予めご了承下さい。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは先着順となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っておりません。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・1人あたり5点以内の持ち込みでお願いします。

編集後記

7月に入り、涼しかったり蒸し暑かったり、不安定な気候が続いています。皆様、体調管理には気をつけましょう。夏らしい写真をカバーに選ばうと思い、先日撮影した県内の海を載せました。(札)

